

浜松市の子どもの貧困を変えるためにフィンランドに留学!!

🌈 取組概要

●全ての子どもたちが幸せに暮らせる浜松市を目指すために、浜松市内の子ども食堂でボランティア活動をしています。

●また、もっと多くの子どもたちを救いたいという思いから、静岡県の「ふじのくにグローバル人材育成事業」に応募し、子どもの貧困に関する先進国であるフィンランドに留学し、日本とフィンランドの違いや現地の教育について学ぶとともに、帰国後は県内の学生を集めた学生団体を設立し、フィンランドの取組や浜松市の課題など情報発信等に取り組んでいます。



🌈 はじめたきっかけ

中学の時にSDGsについて学習し、子供の貧困に興味を持ちました。浜松市は幸福度が高いですが、子どもの貧困率が高いという現状に気づき、市内の子ども食堂でボランティア活動をはじめました。そしてもっと浜松市の子どもたちを救いたいと思い「ふじのくにグローバル人材育成事業」という留学プログラムに応募しました。世界幸福度ランキング一位、子供の貧困率が世界で二番目に低いフィンランドに留学をすることで浜松市の貧困問題を解決できるのではないかと思います留学をしました。

🌈 ポイント

ボランティア活動では、「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」、フィンランドでの留学は「貧困をなくそう」、「質の高い教育をみんなに」、「人や国の不平等をなくそう」の達成につながっていると感じています。子ども食堂は子ども同士や親同士のコミュニケーションの機会になるだけでなく地域の多様な人とつながることができます。

🌈 地域課題と取組成果

静岡県の学生を集めた学生団体を設立し、浜松市だけではなく静岡県のためにInstagramでの発信をしています。浜松市の子どもたちの貧困が原因で夢や挑戦をあきらめることがない環境を作り、子供たち全員が幸せになれる浜松市にしたいと思っています。そのために、子ども食堂でボランティア活動することでより多くの子供たちが美味しいごはんを食べることができる環境創りをお手伝いしています。またフィンランドに留学をした内容をInstagramで発信し、より多くの人が浜松市の課題やフィンランドの教育や福祉について知るきっかけをつくっています。

フィンランドで学んだことや浜松市のこれからについて講演会で話す活動や学生団体でのボランティア活動やイベントの開催を予定しています。

●取組形態 個人

●発足年 2024年

●HP URL <https://www.instagram.com/fujis.teens/>

●子どもの貧困に関心を持ったきっかけを教えてください。

中学校でSDGsについて学んだことがきっかけです。その時に子供の貧困に1番興味を持ちました。高校生になり、探究の時間で浜松市役所の方にお話を伺う機会があって、子供の貧困などについて色々聞かせていただいたこともきっかけだと思います。私は、小さなころから子どもを助ける医師になりたいかたがたのですが、血を見るのがどうしても苦手で……。今は、法の力で子どもを守る弁護士になりたいと思っています。そのために、貧困やいじめなど、子どもたちが抱える問題の根本を高校生のうちに学びたいと思うようになりました。

●フィンランド留学では、どのようなことをしましたか？

2024年の8月から9月の1か月間、首都ヘルシンキと、その隣のエスポーに滞在しました。小学校2校、中学校2校、高校1校を訪問し、アシスタントティーチャーとして先生のお手伝いをしたり、授業を受けたりするほか、日本や静岡について紹介する機会もいただきました。



●子ども食堂のボランティアは、いつから始めましたか？

2024年の6月ごろから参加しています。フィンランド留学のための留学エージェントがなかなか見つからず、以前通っていた英語教室に相談しました。その英語教室の隣で子ども食堂が開かれていて、「参加してみない？」と誘われたのがきっかけでした。子ども食堂は毎週水曜の17時から始まるので、学校が終わってから駆けつけ、準備や配膳を手伝っています。私を含めて3人の高校生がボランティアとして活躍しています。



●フィンランド留学や子ども食堂のボランティアを経験して、普段の生活や行動に変化はありましたか？

留学やボランティアを始めるまでは、自分から行動するのが苦手でした。本当は「やりたい」って思っても、「私には無理かな」と思って諦めてしまうことが多かったです。でも、一歩踏み出したことで、自分の思いをしっかりと発言できるようになったし、行動に移せるようになりました。

●帰国後、高校生団体「Fuji's teens」を設立し、代表もされているそうですね。

はい。「静岡の全ての人が幸せに暮らせる街」を目指して、「Fuji's teens」を設立しました。文部科学省の留学支援制度「トビタテ! 留学JAPAN」を利用して留学した静岡県の高校生20人ほどが参加しています。子どもの貧困を解決するには、私ひとりの力では限界がありますし、私の視点だけでは考えが偏ってしまいます。「トビタテ! 留学JAPAN」には、福祉や観光など、さまざまな目的で留学した高校生がいるので、いろいろな視点を集めることで、よりよい静岡になるのではと思いました。今では、全国の「トビタテ! 留学JAPAN」の仲間も参加してくれるようになりました。



●今後の目標を教えてください。

「Fuji's teens」の活動がんばりたいです。子どもや高校生をはじめ、誰もがチャレンジの一步を踏み出せるきっかけになるイベントを開催するのが目標です。地方創生SDGsコンテストで企業のSDGsの取組なども知ることができたので、イベントを開催する際にはそういった企業と関わると良いと感じました。アンケートでは、子ども食堂を知らない小学生がいることも分かりました。子ども食堂やSDGsなどについては、小学生の頃から知っていた方が良いと思うので、学校に行ってお出張授業などしてみたいです。また、SDGsを通じて空き家問題にも関心が出てきていて、大学生になってからの話ですが、市外に出た若者のUターンにつながるような空き家の活用について、企業や行政と連携して取り組んでみたいと思っています。